

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111C015		算数(小)(Arithmetic (elementary school))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	1	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 川崎道広, 河村真由美 E-mail mkawasa@oita-u.ac.jp, 未定 内線 7567, 7661											
授業の概要	小学校算数科の教科書に記されている数学的内容について理解する。また、それぞれの領域のもつ特徴について理解し、2年次の算数科指導法(小)につなげる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 算数科の教科書に記述されている内容を理解し、問題を解決できる。																	
目標2 算数科の技能について確実に習得し、用いることができる。																	
目標3 数学的な見方、考え方について理解し、働かせることができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 算数科の学習指導要領の指導内容について																	
2 数と計算領域の指導内容 ~数を中心に~																	
3 数と計算領域の指導内容 ~計算を中心に~																	
4 測定領域の指導内容																	
5 変化と関係領域の指導内容																	
6 図形領域の指導内容																	
7 データの活用領域の指導内容																	
8 まとめ																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラック	A:知識の定着・確認	教科の内容について解説するだけでなく、その解説に基づいて生徒への説明の仕方や授業を構想する活動を毎回取り入れる。					工夫	その他の									
ニテ	B:意見の表現・交換																
ンイ	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	参考書や授業で紹介する書籍を読むこと(15h)															
	事後学修	授業で提示する課題を解決すること, 授業で学習した内容を深めること(30h)															
教科書	なし																
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 算数編』日本文教出版、2018																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業内での問題解決を通してのパフォーマンス評価	20%															
	算数科の知識・技能の習得を確認するレポート課題	20%															
	最終課題	60%															
注意事項	なし																
備考	なし																
リンク																	
	URL																